

米・プロ野球独立リーグでプレーしている、春山凌選手からメッセージが届いています！！

・春山凌選手のコメント

『僕は IBL のエイドリアン・パイオニアーズというチームに所属しています。パイオニアーズはほとんどが 22 歳、23 歳の選手です。MLB 傘下のマイナーリーグでプレーしていた選手も何人かいます。個人的にはキャンプ中にしっかりアピールできて開幕からずっと 1 番レフトで使ってもらえていることが収穫です。

シーズン序盤に左肩を脱臼してしまったり、なかなか思うようにいかないこともありましたが、出塁率と盗塁数は今のところチーム 1 位。リードオフマンとして評価してもらえています。

長打も出せているのでこれからもっと打率を上げていきたいところです。今年は僕にとってプロ野球選手としてはじめてのシーズンです。野球を通してまだまだ自分を高められるのではないかと考えた末、慶應義塾大学野球部を引退した後に飛び込んだのがこの世界です。

新卒で大企業に入って働くことも、日本で野球をすることも可能だったかもしれませんが、しかし、アメリカ野球の開放的な雰囲気の中でプレーすることは、僕にとつ

て何物にも代え難い魅力的なものでした。その上、言うまでもなくアメリカと日本で野球の質は大きく異なりますし、選手のプレースタイルも多様です。チャンスを掴めれば上にいけるし、掴めなければすぐにクビになり、リリース（解雇）されることもあります。

学歴も何も通用しませんし、自分自身の価値をその場その場で創造していかなければなりません。そういった環境に身を置くことで、自分自身を急速に高めていけるのではないかと思います。

そしていずれ精神的にも肉体的にも、本当の強さを手に入れ、もっともっと上のレベルでプレーしたいです。今は英語でコミュニケーションをとることもひと苦労ですし、精神的にも経済的にも苦しいことがたくさんありますが、失敗しながらも日々成長を実感し、充実した毎日を送ることができています。

僕が今日このような挑戦が実現できているのは、アメリカへの道を切り拓いてきてくれた偉大な先輩方のおかげであることに他なりません。その事実と歴史を片時も忘れず、日本人としての誇りを胸に、精一杯プレーしていきたいと思います。』

春山凌選手は慶應義塾大学をこの春に卒業したルーキーです。守られた日本での学生野球とは異なり、明日が保障されていないこの環境でプレーしていくことは、彼にとってもタフなシチュエーションだと思います。環境に適応していく日々が成長の証です。引き続き、春山選手の成長を期待しています！

